



アマビエ^{せいざ}星座に^{ねが}願いを



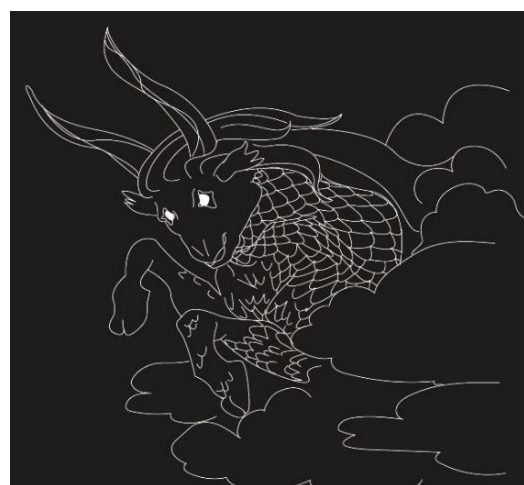
こいぬ座にのっているアマビエ

2019年の11月からまるちたいけんドームは新しいシステムを取り入れてリニューアルオープンしています。そのシステムでは、月のクレーターが作る影^{かげ}もコンピューターによる計算でとても精密に表現されます。何百年も前の天文現象^{てんぶんげん}を再現したり、火星の空に日^ひが昇るのをみたり、一瞬で銀河系^{ぎんがけい}の外へ飛^とんで行ったり、ISSの3Dモデルを読み込んで軌道データを入力すれば、地球

の周りをまわるISSを再現することもできるのです。これらの映像はイベントや講演会などで観たことがあるかもしれません。また、宇宙の事に限らず、ドームのスクリーンはいろいろなものを映し出すことができます。例えば、自分が描いた絵を映したり、カメラで撮った映像もドームで観ることができます。

そこで疫病退散にご利益があるというアマビエに、新型コロナウイルス感染症が収まりますようにと願いを込めて「アマビエ星座」を描きました。道具の星座を使ってみたり、アマビエが星座に変身した投影^{ていえい}を準備中です。みなさんが知っている星座はどんなアマビエ星座になっているでしょう。わくわくデスクとコラボした塗り絵も計画しています。

アマビエ星座で願いが届きますように。



おうし座になったアマビエ

(解説員: 松本 萌)